

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立福島小学校
校長氏名	辻本 真吾
作成日	令和元年 2月 13日

1 教育目標

徳育・体育・知育の調和がとれ、豊かな感性と正しくたくましく生きぬく力をもった子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	- 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 - 学校評価アンケート「わたしは毎日の勉強がわかる」で「とてもそう思う(よくわかる)」(児童90%)	「わたしは学校が楽しい」で「とてもそう思う(とても楽しい)」(児童90%) 「みんなの道徳」「心のとびら」の活用(教師100%) - いじめの解消率100%	「今、休憩時間は外で元気に遊んでいる」で「あてはまる」(児童90%) 「生活リズムチェック」で「朝ごはんを食べた」等(児童100%)	「学校は、学校の教育目標や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えられている」で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」(保護者90%) - 地域の人材や資源を活用した取組を行った。(教師100%)
重点目標	◎言語活動・主体的な学習の充実 ◎授業研究の充実 ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進	◎道徳・人権教育の推進 ◎望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成 ◎いじめの未然防止、早期発見	◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ◎危機回避能力の育成	◎家庭・地域との連携充実 ◎地域の資源活用の推進 ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
取組の状況【D】	・節目となる場面で「書く活動」を多く取り入れ、課題解決に向けて主体的に学習に取り組む姿勢を育てよう努めた。 ・学習活動全般に渡って、児童が自分の考えを積極的に伝え、ともに学び合う機会を多く取り入れるよう努めた。 ・全教員が年間1回授業研究を行った。 ・家庭と連携しながら、自主学習ノートや「カルテック」を活用し家庭学習の定着に努めた。 ・「朝の読書タイム」や「うちどく」の取組を通じて読書習慣の定着を図った。	・「福島のみまり」等について全教職員で共通理解を図りながら、全員が同じ指導を行うよう心がけた。また、保護者へも指導内容を知らせ、家庭と連携を図りながら指導を行った。 ・「道徳」の時間をはじめ、全教育活動を通じて道徳教育・人権教育をすすめた。 ・毎日の清掃活動及び学校行事等を通じて、縦割り班を活用し異年齢で活動する機会を多く取り入れた。 ・「いじめアンケート」を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。	・外遊びの推奨や校内マラソン大会及び縄跳び大会等の開催、市小学校陸上競技大会等への参加を通じて体力の向上を図った。 ・機会ある毎に「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨した。 ・「避難訓練」や「交通安全教室」を計画的に行い、危機回避能力を育成するよう努めた。	・学校だより、学級だより、HP等様々な手段で、学校の教育活動や児童の様子を保護者や地域の方々に情報発信するよう努めた。 ・夏祭りや集会等を通じて地域との交流を図るとともに、地域行事等にも積極的に参加するよう努めた。 ・ゲストティーチャー、ボランティアや、地域の施設・文化・人材を積極的に活用するよう努めた。 ・保幼小の接続、中学校区での小中、小中の連携を図るよう努めた。
取組の成果と課題【C】(評価結果)	・県調査の正答率について5年国語算数4年算数基本問題は県平均を上回ったが4年国語、算数活用、5年理科は県平均を下回った。 ・学校評価アンケート「わたしは毎日の勉強がわかる」で「とてもそう思う」「そう思う」併せて88.5%であった。	・学校評価アンケート「わたしは、学校が楽しい」で「とてもそう思う」「そう思う」併せて88.5%であった。 ・同アンケート(教職員)「いじめ・不登校・問題行動は把握し、解決へと努めている。」について「とてもそう思う」「そう思う」併せて100%であった。	・児童アンケート「今、休憩時間は外で元気に遊んでいる」で「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」併せて80.1%であった。 ・「生活リズムチェック」の結果から洗顔、歯磨きなし、朝食抜きの児童や、給食後の歯磨きをしていない児童、また低学年でも寝るのが遅い児童がいた。	・学校評価アンケート「学校は、学校の教育目標や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えられている」で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」併せて81.2%であった。 ・学校評価アンケート「保護者や地域の学校への理解や協力は得られているか」について「とてもそう思う」「そう思う」併せて81.9%であった。
改善方法【A】(次年度に向けて)	・新研究テーマに即して全教職員の共通理解を図りながら研究を進める。 ・学力向上に向け全学年を通じた取組を進める。 ・家庭と連携して自主学習の定着を図る。 ・全学年を通じた取組を進め、読書習慣の定着を図る。	・教育活動全体を通じた道徳教育、人権教育の取組を進める。 ・縦割り班活動の改善充実をさらに進める。	・外遊びを推奨するとともに児童自らが体力づくりに取り組むよう啓発に努める。 ・家庭と連携して「早寝、早起き、朝ごはん」をすすめる。 ・地域とともに行う津波避難訓練の改善充実を進める。	・「きのくにコミュニティスクール」の取組を更に進める。 ・保幼小の接続、中学校区での小中、小中の連携協力をさらに進める。

3 その他の課題

・地域全体で地域の子供を育てるという意識を共有し、保護者や地域の方々と連携・協働して、「地域とともにある学校づくり」「課題解決に向けた取組」を、効果的に進める必要がある。